

過去の震災に学び 障がい者の備えを考える会～【特別編】

# みんなで作ろう防災計画!



昨年実施した「インクルーシブな避難所運営シミュレーション」に引き続き、世田谷区の避難所運営マニュアルに沿って検討してみる、避難所シミュレーションのワークショップを行います。あみ∞あむの砂田さんをお呼びし、避難所運営マニュアルのブラッシュアップにつながる意見交換にしていければと思います。

運営の中で実際に想定し難しいことなどを話し合っていきたいですね!

ファシリテーター:

## ◆砂田紀子（日本防災士会世田谷支部防災士/あみ∞あむ）

参加者とのワークショップ・話し合い

資料代：500円 定員：45名

対象者：避難所運営を担当する自治会・町会の方、  
一般区民、障害当事者、家族、支援機関職員



日時：2019年 **2月25日（月）** 10:30-12:30

◆ 場所：宮坂区民センター3F 中会議室

東京都世田谷区宮坂 1-24-6 / 世田谷線宮の坂駅前

主催：過去の震災に学び障がい者の備えを考える会

ガチャバンとともに生きる会/社会福祉法人 自立の家/  
TOLI協会/ HANDS世田谷 / ヘルプコネクションひねもす



お問い合わせ：HANDS 世田谷

☎03 5450 2861 FAX 03 5450 2862 メール hands@sh.rim.or.jp

## 避難所シミュレーションについて

模造紙を使って、紙面上に避難所を開設するワークショップです。数人ずつに分かれてのグループワークとなります。過去の災害の経験から用意された「課題」に対して、どのように対応するか、またどのようにしておけば、避難所が少しでも過ごしやすい場所となるのか、話し合っていきます。

## ファシリテーター:あみ∞あむ 砂田紀子さん

あみ∞あむく地域防災を女性の視点で考え、地域のネットワーク（網）をつくる（編む）> 災害時にあっても、全ての人の尊厳が保たれる地域防災計画の立案と実現に向けて活動しています。メンバーは危機管理士・防災士・災害救援ボランティア セーフティリーダー・赤十字救急員・消防庁上級救命技能認定者・DV 被害支援者・医療専門職・環境カウンセラー 等で構成されています。

✽主な活動内容✽

◆防災・災害対策の調査研究◆ネットワークづくり◆人権に配慮した防災教育のプログラムづくり◆学習会の企画開催◆情報の発信◆コーディネーターの養成◆地域の防災マニュアル作成のお手伝い 等

## 主催:過去の震災に学び 障がい者の備えを考える会(通称:備える会)

備える会は、東日本大震災後に、世田谷区で障がい者の支援活動を行っている5団体が集まり、結成されました。これまで3回の講演会を、「阪神淡路大震災」「東日本大震災」「熊本地震」を現地で経験し、被災者であり且つ支援者としても活動された方を講師に招き、それぞれの現場からの教訓を学んできました。今回は、前回の「避難所運営シミュレーション」のフォローアップ、世田谷区での防災計画を踏まえて考えてみたいと思います。

## お問い合わせ: HANDS 世田谷

☎ 03 5450 2861 FAX 03 5450 2862 メール [hands@sh.rim.or.jp](mailto:hands@sh.rim.or.jp)